

第17回 日本都市計画学会中国四国支部 研究発表会プログラム

日時：2019年4月6日（土）9時45分～18時15分（受付 午前9時30分）

会場：合人社ウエンディひと・まちプラザ北棟5階研修室C

□開会挨拶（9：45～9：50）

学術委員会委員長：塚井 誠人（広島大学）

□研究発表

セッション1（9：50～10：50）

司会：神田 佑亮（呉工業高等専門学校）

- ・計画策定における市民意見の反映に関する研究
～廿日市市の立地適正化計画において～
○三浦 浩之（広島修道大学）
- ・体験マップ導入による滞在時間と回遊行動の分析
～廿日市市宮島口を事例として～
○宮野 裕司（株式会社高組）、今川 朱美、古和 克司
- ・大規模自然災害による交通途絶時の交通需要マネジメントのための
情報提供システムの開発と運用
○神田 佑亮（呉工業高等専門学校）、森山 昌幸、藤原 章正、伊藤 昌毅、
諸星 賢治、太田 恒平、赤木 大輔、大室 ひな、重光 裕介

休憩（10：50～11：00）

セッション2（11：00～12：00）

司会：渡邊 一成（福山市立大学）

- ・高大連携事業の取組効果と将来展望
— 福山市立大学での取り組みを事例として —
○渡邊 一成（福山市立大学）
- ・新聞記事を用いた平成30年7月豪雨における住民の避難行動についての一考察
— 広島県を事例として —
○篠部 裕（呉工業高等専門学校）、清水 波音
- ・視覚性ワーキングメモリの駆動による和風型街並における注意の誘導効果
○八木 優弥（愛媛大学）、白柳 洋俊、倉内 慎也

昼休憩（12：00～13：20）

（幹事会 12：10～13：10 南棟3階会議室B）

□支部定時総会（13：20～14：20）

休憩（14：20～14：30）

□研究発表

セッション3（14：30～15：50）

司会：後藤 忠博（(株)オリエンタルコンサルタンツ）

- ・東日本大震災に伴う大津浪災害対策としての高台移転事業結果による住民意向実態調査報告
— 宮城県におけるいくつかの事例の場合 —
○石丸 紀興（広島諸事・地域再生研究所）
- ・四国の行政職員等を対象とした電動カート試乗体験の実施報告
— 試乗体験後の意識変化等について —
○塚本 文（国土技術政策総合研究所）
- ・交通事故が広域道路ネットワーク交通流に与える影響の分析
○奥原 瑠依（愛媛大学）、吉井 稔雄、坪田 隆宏、白柳 洋俊
- ・生業の変化に伴う町並みと建物用途の変容
— 福島県大内宿伝建地区を事例として —
○八百板 季穂（岡山理科大学）、佐藤 史典、梶谷 友愛

休憩（15：50～16：00）

□招待論文発表（16：00～18：10）

司会：目山 直樹（徳山工業高等専門学校）

- ・米子城復元の可能性と是非を問う
金澤 雄紀（米子工業高等専門学校）

休憩（17：00～17：10）

- ・LRTの進化とまちづくりへの展開
伊藤 雅（広島工業大学）

□閉会挨拶（18：10～18：15）

学術委員会副委員長：吉原 俊朗（(公財)中国地域創造研究センター）

※交流会（18：30～20：30）